



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場会社名 **株式会社 IHI**

上場取引所 東 大名 札 福

コード番号 7013 URL <http://www.ihico.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 保

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長

(氏名) 寺井 一郎

TEL 03-6204-7065

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	272,849	8.6	10,237	△10.9	9,935	△7.2	4,354	△15.4
24年3月期第1四半期	251,320	△6.4	11,488	△23.1	10,705	△15.1	5,148	△34.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 6,196百万円 (34.4%) 24年3月期第1四半期 4,609百万円 (44.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.97	2.81
24年3月期第1四半期	3.51	3.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,292,262	262,265	19.4
24年3月期	1,338,131	258,475	18.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 251,130百万円 24年3月期 250,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	580,000	10.3	10,000	△47.6	5,000	△63.1	11,000	118.8	7.51
通期	1,220,000	△0.2	40,000	△7.7	30,000	△28.1	25,000	4.9	17.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	1,467,058,482 株	24年3月期	1,467,058,482 株
25年3月期1Q	3,792,985 株	24年3月期	2,853,236 株
25年3月期1Q	1,463,735,539 株	24年3月期1Q	1,466,658,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しにのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 事業区分別連結受注高	11
(2) 事業区分別連結売上高	11
(3) 事業区分別連結受注残高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、依然として需給ギャップが存在し、エコカー補助金などの景気刺激策と復興需要に下支えされた状況にあります。復興需要は平成24年度後半にピークアウトすることが予想され、以降は外需の取り込みが重要となります。

一方で海外経済は欧州債務危機の影響から欧州の景気減速が鮮明となり、欧州向け輸出の減少などで新興国経済にも影響を与えつつあります。また、米国経済も一進一退の状況を脱却できず、世界経済を牽引することは期待できない状況にあります。さらには、中国も大規模な金融緩和や財政出動の余地が限られており、世界経済の牽引役が不在となっていることから、先行きの不透明感の高い状況が続いております。

当社グループは、このような状況にあって、平成24年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画である「グループ経営方針2010」に取り組んでおります。為替変動等の環境変化により、当初目標である連結売上高1兆4,000億円程度、連結経常利益600億円の達成は困難ですが、成長する企業グループの確立に向け、車両過給機等を「成長・注力事業」として指定し、優先的に経営資源を投入するなど事業の集中と選択を進めるとともに、グローバルな事業運営を加速すべく取り組んでおります。なお、当社は、平成24年1月30日に基本合意した株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド及びユニバーサル造船株式会社の経営統合の準備を進めており、平成24年4月23日に新社名をジャパン マリンユナイテッド株式会社とすること、及び主要組織の概要などを内定しました。また、当社は、平成24年6月12日に株式公開買付けにより明星電気株式会社を子会社化しました。当社グループのセキュリティ事業、宇宙関連事業などの分野において、環境計測・防災システム・宇宙関連及び制御システムなどを事業基盤とする明星電気株式会社とのシナジー効果を創出していきます。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、「物流・産業機械」セグメント等で減少したものの、「資源・エネルギー」セグメントの増加により、前年同期比7.5%増の1,959億円となりました。売上高は、「船舶・海洋」セグメントで減少したものの、「資源・エネルギー」セグメントや「物流・産業機械」セグメント等の増加により、前年同期比8.6%増の2,728億円となりました。損益面では、「資源・エネルギー」セグメントや「航空・宇宙」セグメントの増益があったものの、「船舶・海洋」セグメント等の減益により、営業利益102億円、経常利益99億円、四半期純利益43億円といずれの利益段階においても減益となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

〈資源・エネルギー〉

受注高は、ボイラが大幅に増加し、前年同期比38.3%増の747億円となりました。

売上高は、ガスタービン、貯蔵設備で減収となったものの、ボイラ、原子力機器の増収により、前年同期比29.7%増の739億円となりました。

営業利益は、売上高の増加と採算性の向上により、前年同期比19億円増加の20億円となりました。

〈船舶・海洋〉

受注高は、前年同期比23.5%減の81億円となりました。当期は新造船の受注がありませんでした。

売上高は、新造船が減収となり、前年同期比12.7%減の355億円となりました。

営業利益は、前年同期には採算性の高い新造船の売上があったことに加え、売上高が減少したため、前年同期比61.0%減の20億円となりました。

〈社会基盤〉

受注高は、油圧機械、橋梁で減少し、前年同期比25.0%減の105億円となりました。

売上高は、不動産賃貸が増収となったものの、水門、油圧機械の減収により、前年同期比11.8%減の209億円となりました。

営業利益は、上述の減収及び橋梁の採算性の悪化により、前年同期比41.6%減の12億円となりました。

〈物流・産業機械〉

受注高は、交通システム、パーキングが増加したものの、物流システム、運搬機械が減少したことにより、前年同期比29.3%減の254億円となりました。

売上高は、製鉄機械、パーキング、物流システムが増収となり、前年同期比30.5%増の310億円となりました。

営業損益は、製鉄機械、物流システムの増収により、前年同期（4億円の赤字）から4億円改善しました。

〈回転・量産機械〉

受注高は、圧縮機で減少したものの、車両過給機が増加したことにより、前年同期比7.2%増の414億円となりました。

売上高は、圧縮機で減少したものの、車両過給機が増加したことにより、前年同期比11.6%増の397億円となりました。

営業利益は、圧縮機の減収及び採算性の悪化により、前年同期比10.8%減の17億円となりました。

〈航空・宇宙〉

受注高は、防衛機器システムで減少したものの、航空エンジンが増加し、前年同期比17.2%増の298億円となりました。

売上高は、宇宙開発関連機器、航空エンジンの増収により、前年同期比7.7%増の681億円となりました。

営業利益は、上述の増収及び採算性の向上により、前年同期比78.6%増の62億円となりました。

〈その他〉

受注高は、ディーゼルエンジンが減少したことにより、前年同期比16.0%減の210億円となりました。

売上高は、ディーゼルエンジンの減収により、前年同期比18.6%減の218億円となりました。

営業利益は、ディーゼルエンジンの減益により、前年同期比64.7%減の3億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1兆2,922億円となり、前連結会計年度末と比較して458億円減少しました。主な増加項目は、仕掛品で208億円、主な減少項目は、受取手形及び売掛金で582億円、現金及び預金で142億円などです。

負債は1兆299億円となり、前連結会計年度末と比較して496億円減少しました。主な減少項目は、短期借入金で348億円、賞与引当金で106億円などです。なお、この結果、有利子負債残高はリース債務を含めて3,006億円となり、前連結会計年度末と比較して445億円減少しました。

純資産は2,622億円となり、前連結会計年度末と比較して37億円増加しました。これには四半期純利益43億円、剰余金の配当による減少58億円が含まれています。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の18.7%から19.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績につきましては、この第1四半期決算を受けて検討した結果、前回発表を修正していません。

なお、第2四半期連結会計期間以降の為替水準の前提を80円/USドル、100円/ユーロとしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税金等調整前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却の方法)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,914	49,623
受取手形及び売掛金	348,671	290,426
有価証券	2,736	1,086
製品	23,320	23,701
仕掛品	218,224	239,056
原材料及び貯蔵品	109,500	111,865
その他	84,281	78,138
貸倒引当金	△6,282	△5,960
流動資産合計	844,364	787,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	153,596	153,254
その他(純額)	181,149	188,975
有形固定資産合計	334,745	342,229
無形固定資産		
のれん	5,073	8,572
その他	18,539	18,338
無形固定資産合計	23,612	26,910
投資その他の資産		
その他	141,557	140,115
貸倒引当金	△6,147	△4,927
投資その他の資産合計	135,410	135,188
固定資産合計	493,767	504,327
資産合計	1,338,131	1,292,262
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	293,493	286,964
短期借入金	124,194	89,375
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	13,208	6,059
前受金	104,393	120,800
賞与引当金	24,700	14,002
保証工事引当金	15,526	15,811
受注工事損失引当金	29,189	29,078
その他の引当金	868	462
その他	74,122	76,213
流動負債合計	689,693	638,764
固定負債		
社債	53,450	53,422
長期借入金	141,967	140,700
退職給付引当金	129,037	129,844
その他の引当金	4,392	3,172
その他	61,117	64,095
固定負債合計	389,963	391,233
負債合計	1,079,656	1,029,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	95,762	95,762
資本剰余金	43,044	43,046
利益剰余金	116,083	115,927
自己株式	△547	△744
株主資本合計	254,342	253,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△361	△1,008
繰延ヘッジ損益	△55	186
土地再評価差額金	4,665	4,665
為替換算調整勘定	△8,452	△6,704
その他の包括利益累計額合計	△4,203	△2,861
新株予約権	462	448
少数株主持分	7,874	10,687
純資産合計	258,475	262,265
負債純資産合計	1,338,131	1,292,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	251,320	272,849
売上原価	205,792	227,131
売上総利益	45,528	45,718
販売費及び一般管理費	34,040	35,481
営業利益	11,488	10,237
営業外収益		
受取利息	173	153
受取配当金	1,022	687
持分法による投資利益	200	513
その他	2,976	2,332
営業外収益合計	4,371	3,685
営業外費用		
支払利息	1,313	1,174
為替差損	637	1,707
その他	3,204	1,106
営業外費用合計	5,154	3,987
経常利益	10,705	9,935
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,752
減損損失	—	7
特別損失合計	—	2,759
税金等調整前四半期純利益	10,705	7,176
法人税等	5,455	2,380
少数株主損益調整前四半期純利益	5,250	4,796
少数株主利益又は少数株主損失(△)	102	442
四半期純利益	5,148	4,354

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,250	4,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,142	△643
繰延ヘッジ損益	65	265
為替換算調整勘定	330	1,759
持分法適用会社に対する持分相当額	106	19
その他の包括利益合計	△641	1,400
四半期包括利益	4,609	6,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,476	5,686
少数株主に係る四半期包括利益	133	510

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注)	合計
	資源・ エネルギー	船舶・ 海洋	社会基盤	物流・ 産業機械	回転・ 量産機械	航空・ 宇宙	その他	計		
売上高										
(1) 外部顧客への 売上高	52,962	40,444	21,781	22,652	32,728	61,937	18,816	251,320	—	251,320
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,059	272	1,963	1,127	2,936	1,357	7,978	19,692	△19,692	—
計	57,021	40,716	23,744	23,779	35,664	63,294	26,794	271,012	△19,692	251,320
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は 営業損失)	152	5,340	2,134	△476	1,971	3,491	981	13,593	△2,105	11,488

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△174百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,931百万円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注)	合計
	資源・ エネルギー	船舶・ 海洋	社会基盤	物流・ 産業機械	回転・ 量産機械	航空・ 宇宙	その他	計		
売上高										
(1) 外部顧客への 売上高	66,034	34,578	19,883	30,772	37,551	66,849	17,182	272,849	—	272,849
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,894	957	1,054	261	2,243	1,339	4,633	18,381	△18,381	—
計	73,928	35,535	20,937	31,033	39,794	68,188	21,815	291,230	△18,381	272,849
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は 営業損失)	2,052	2,080	1,247	△20	1,758	6,235	346	13,698	△3,461	10,237

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△331百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,130百万円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

・各セグメントに属する主な製品・サービス

資源・エネルギー…………… ボイラ, ガスタービン, 原子力機器, 貯蔵設備, 化学プラント,
原動機プラント, フローティングLNG貯蔵設備

船舶・海洋…………… 新造船, 修理船, 海洋構造物

社会基盤…………… 橋梁, 建材製品, 不動産販売・賃貸

物流・産業機械…………… 運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 交通システム, 製鉄機械,
製紙機械, 環境装置

回転・量産機械…………… 圧縮機, 車両用過給機

航空・宇宙…………… 航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 防衛機器システム

その他…………… ディーゼルエンジン, 農業機械, 建設機械, その他サービス業

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、平成24年6月12日に株式公開買付けにより明星電気株式会社を子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は3,681百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 事業区分別連結受注高

(単位：百万円)

事業区分	23年度第1四半期 (23. 4～23. 6)		24年度第1四半期 (24. 4～24. 6)		前年同期比増減		23年度 (23. 4～24. 3)	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	増減率 %	金額	構成比 %
資源・エネルギー	54,058	30	74,736	38	20,678	38.3	312,897	25
船舶・海洋	10,587	6	8,103	4	△2,484	△23.5	76,757	6
社会基盤	14,112	8	10,582	6	△3,530	△25.0	199,594	16
物流・産業機械	36,020	20	25,477	13	△10,543	△29.3	165,543	13
回転・量産機械	38,647	20	41,436	21	2,789	7.2	161,536	13
航空・宇宙	25,481	14	29,871	15	4,390	17.2	331,110	26
その他	25,001	14	21,011	11	△3,990	△16.0	105,227	8
調整額	△21,544	△12	△15,224	△8	6,320	—	△82,988	△7
合計	182,362	100	195,992	100	13,630	7.5	1,269,676	100
海外受注高	59,751	33	81,875	42	22,124	37.0	562,777	44

(2) 事業区分別連結売上高

(単位：百万円)

事業区分	23年度第1四半期 (23. 4～23. 6)		24年度第1四半期 (24. 4～24. 6)		前年同期比増減		23年度 (23. 4～24. 3)	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	増減率 %	金額	構成比 %
資源・エネルギー	57,021	24	73,928	27	16,907	29.7	312,356	26
船舶・海洋	40,716	16	35,535	13	△5,181	△12.7	176,252	14
社会基盤	23,744	9	20,937	8	△2,807	△11.8	114,763	9
物流・産業機械	23,779	9	31,033	11	7,254	30.5	152,937	13
回転・量産機械	35,664	14	39,794	15	4,130	11.6	165,828	14
航空・宇宙	63,294	25	68,188	25	4,894	7.7	299,462	24
その他	26,794	11	21,815	8	△4,979	△18.6	107,310	9
調整額	△19,692	△8	△18,381	△7	1,311	—	△107,039	△9
合計	251,320	100	272,849	100	21,529	8.6	1,221,869	100
海外売上高	121,146	48	116,746	43	△4,400	△3.6	521,010	43

(3) 事業区分別連結受注残高

(単位：百万円)

事業区分	23年度末 (24. 3. 31)		24年度第1四半期末 (24. 6. 30)		前年度末比増減		23年度第1四半期末 (23. 6. 30)	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	増減率 %	金額	構成比 %
資源・エネルギー	368,459	28	360,177	29	△8,282	△2.2	356,574	29
船舶・海洋	188,854	14	160,634	13	△28,220	△14.9	256,987	21
社会基盤	190,193	14	179,269	14	△10,924	△5.7	95,290	8
物流・産業機械	158,393	12	155,969	13	△2,424	△1.5	155,251	13
回転・量産機械	17,869	1	19,544	2	1,675	9.4	24,285	2
航空・宇宙	368,864	28	331,249	27	△37,615	△10.2	314,085	25
その他	25,984	3	23,496	2	△2,488	△9.6	25,512	2
合計	1,318,616	100	1,230,338	100	△88,278	△6.7	1,227,984	100
海外受注残高	570,797	43	529,218	43	△41,579	△7.3	486,076	40